

長崎大学高度感染症研究センター実験棟の運用に関する第5回地域連絡協議会に係る一部報道に係る補足説明

令和6年10月29日に開催された標記協議会での本センターからの説明内容に係る一部報道について、正確性を期すため次のとおり補足致します。当該記事ではBSL-4施設内に持ち込まれる予定のウイルス種の一つとして「フニンウイルス」を挙げていますが、正確には「フニンウイルスのワクチン株 (Candid#1)」です。フニンウイルスのワクチン株は、ワクチン接種用にも長年用いられてきた実績のあるもので、人への病原性はなく、病原体のリスクレベルはBSL-2に分類されるものです。

また、報道では、ウイルスの性質として「毒素の低い」という表現が使われていますが、ウイルスの性質に関する表現として通常は、「(ヒトに対して) 病原性の低い」という表現を用います。

以上